

# うたごよみ

12の季節



## 「俳句」あさひ俳句会選

山眠る人の暮らしも抱きつつ

仲町 原里歌

子の許へ名物ぽんかん送りけり

串間 島田ミネ子

空港は出会いの縮図三日かな

仲町 木島幸子

龍の玉襷に在りてきらめきぬ

上町一 又木順子

新しき暦に未来の重さあり

上小路 木島サイ子

短歌の投稿は 清水しづ子さんまで(☎72-15546)

## 「短歌」串間短歌会選

夫用のほつこり炊けた今朝の飯あつあつ握る塩のおむすび

吉川 野邊俊子

言の葉のひと葉ひと葉を拾ふ秋寄せては解き寄せては紡ぐ

堂園 吉田良子

淋しさと気儘の比重少しずつ入れ替わる四十二年夫の忌

上中園 鍋倉文子

大方が花材でありし花たちにお礼言ひつつ庭の整理す

西小路 坂本不二子

日本の秋おだやかなり沿道に笑顔あふるる祝賀御列

霧島 清水しづ子

俳句の投稿は 又木順子さんまで(☎72-10159)